

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成21年11月19日 (2009.11.19)

【公表番号】特表2007-504311(P2007-504311A)  
 【公表日】平成19年3月1日 (2007.3.1)  
 【年通号数】公開・登録公報2007-008  
 【出願番号】特願2006-525102(P2006-525102)  
 【国際特許分類】

C 0 8 F 293/00 (2006.01)

【 F I 】  
 C 0 8 F 293/00

【誤訳訂正書】  
 【提出日】平成21年9月30日 (2009.9.30)  
 【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲  
 【訂正対象項目名】請求項 7  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【請求項 7】

モノマー B は ノナエチレングリコールメチルエーテルアクリレート又は ノナエチレングリコールメチルエーテルメタクリレートである請求項 1 ~ 3 及び 5 いずれか 1 項記載のコポリマー。

【誤訳訂正 2】  
 【訂正対象書類名】明細書  
 【訂正対象項目名】0 0 1 8  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【0 0 1 8】

好ましくは、 $n$  は 2 以上であり、 $R^2$  はメチル基又はエチル基である。 $n$  の値は 2 5 ま  
 で、又はそれ以上でも良い。例えば  $n$  は約 2、3、4、5、6、7、8、9、10、12  
 、14、18、20、22、又は 25 である。

好ましくは  $p$  は 2 であり、 $n$  は 2 以上であり、 $R^2$  はメチル基又はエチル基である。ジ  
 エチレングリコールエチルエーテルアクリレート (DEGA) 又はジエチレングリコール  
 エチルエーテルメタクリレートは使用できるモノマー B の例である。メトキシエチルア  
 クリレートは特に好ましくない。ノナエチレングリコールメチルエーテルアクリレート ( $n$   
 EGA) 又は ノナエチレングリコールメチルエーテルメタクリレートは他のモノマー B の  
 例である。

モノマー B は分岐しているヒドロキシ基を有するモノマー、例えばヒドロキシエチル (メ  
 タ) アクリレート及びポリエトキシ化 (polythoxylated) 化合物に対して利点をもた  
 らす：即ち、モノマー B は非常に低い副反応架橋をもたらす。

【誤訳訂正 3】  
 【訂正対象書類名】明細書  
 【訂正対象項目名】0 0 7 9  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【0 0 7 9】

実施例 4：ジブロックコポリマー  $p(nEGA)_{30000} - b - p(TMAEAMS)_{11000}$  (ポリノナエチレングリコールメチルエーテルアクリレートブロックポリ{[2 - (ア

クリロキシ)エチル]トリメチルアンモニウムメチルサルフェート)の合成

ステージ1:モノブロックp(nEGA)<sub>30000</sub>の合成

成分:エタノール30.0g。水130.0g。ノナエチレングリコールメチルエーテルアクリレート165.0g。商標「ザンテートA」1.145g。 $S_2O_8(NH_4)_2 \cdot 2H_2O$  250g。

手順:上記成分は機械攪拌器を備えた500ml重合容器中に導入される。ゴム製セブタムキャップで封じた後、内容物は乾燥窒素で60分間バブルされ、次に70℃迄加熱され、この温度で8時間維持される。少量のサンプルが取り出され転換を確認される。固体含有量は50%である。